

令和3(2021)年11月17日

小金井市議会議員
五十嵐京子／清水がく／遠藤百合子／湯沢綾子／吹春やすたか
森戸よう子／水上洋志／たゆ久貴
宮下誠／渡辺ふき子／小林正樹
白井亨／水谷たかこ
片山かおる
渡辺大三
古畑俊男

庁舎等建設に係る建築確認申請に関する申し入れ書

11月16日に開催された市議会全員協議会に、市長は、小金井市の令和3年度から7年度までの財政見通しを示した「中期財政計画(案)」と「庁舎等複合施設建設事業 財政計画(案)」を提示した。

「中期財政計画(案)」は、令和7年度末の財政調整基金残高がわずか8億3000万円、基金総額も13億1400万円にまで落ち込む内容となっている。その一方、公共施設整備基金は不存在のまま放置され、現在わずか5100万円しか残高がない教育施設整備基金への積み増しも一切行わないとの内容であった。

「庁舎等複合施設建設事業 財政計画(案)」では、市長自身が84億4000万円としてきた建設工事費が実に6億3207万円も急増し、90億6424万円となっている。総事業費は約120億円を超えた。全員協議会では、多くの議員から、他事業への影響を指摘する質疑が相次いたが、市長は「影響が出ないようにする」と述べるだけで、具体的方策は何ら示さなかった。

この間、市議会は、新型コロナウイルス感染症の下、コストダウンの方策を検討することを、定例会ごとに決議を可決して求めてきた。

特に10月7日に賛成16反対6の大差で可決した「新型コロナウイルス感染症が社会経済状況や市財政に与える影響に鑑み、新庁舎等建設の見直しを求める決議」は、「基本設計の前提条件の是正も視野に十分検討し、市民生活に影響のない財政見通しを示すか、大幅なコストダウンに向けて具体的に取り組むべきである」と指摘した。しかし、市長の姿勢はこの決議に真っ向から反するものである。

よって、決議に賛成した全議員は、連名で、市長に対し、以下の事項を緊急に申し入れるものである。

市民と議会の理解を得るまでの間、庁舎等建設に係る建築確認申請は行わないこと。

以上